



の が き 野垣あきこ まちづくりカフェ

子ども・暮らし・平和



2024年6月26日 No.190 連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ!

旧若杉小跡地の本格活用

防災や文化芸術など 住民意見を反映した施設を作ろう



6月14日、杉並区は、旧若杉小跡地の本格活用に向けた基本的な方向性を整理し、区議会の総務財政委員会に報告しました。

旧若杉小の既存校舎解体を前提に跡地活用を検討

若杉小は山田区政時代の学校統廃合で廃校となりました。区政時代の12年間は、区立施設の統廃合計画で玉突き移転する施設の調整の場となってきた経緯があります。そのため、本格活用への検討はほとんど進みませんでした。

住民からは、震災救援所の拡充、文化芸術の拠点に、地域に集会所が激減（ゆうゆう天沼館や天沼地域区民センターなど）したため集会所に、等の声が

既存校舎の活用又は解体に関する比較検討

項目	改修して活用	解体して建替え
活用開始時期	R10~11年度以降	R12年度以降
活用期間	改修後 20~25年で建替え	建替え後 80年程度
整備費用	大規模改修費 15~25億円程度	解体費：3億円 建設費：36億円程度
利点	○活用開始時期が早い ○跡地施設整備の初期費用を抑えられる	○敷地の有効活用、用途に合わせ建設が可能 ○バリアフリーやZEB化の推進
課題	○耐震性能維持には壁など構造躯体の撤去を含む間取り変更が困難 ○改修費用を要するが、活用は20年程度。活用後建替えと同様の費用がかかる ○バリアフリーに課題	○建設費が多額となる ○施設開設までに6年程度かかる



▲区HPの関連資料

躯体調査・経費の試算を行う

寄せられています。

岸本区政はこうした住民の声を受け、昨年度に既存校舎の躯体状況調査を実施しました。

調査では耐震に影響を及ぼすほどの躯体の劣化は見られないことを確認し、改修の場合と、解体して建替えする場合の費用の試算を行いました。

区は、左記の比較検討を踏まえ、費用対効果等を考えた結果、既存校舎の解体を前提として跡地活用を検討することを基本的な方向性としてしました。

ワークショップで住民と対話

区立施設マネジメント計画に基づき、今年の秋以降、利用者や住民等と共に考えながら本格活用を進める方向でワークショップを開催します。来年度以降はワークショップで出した意見を踏まえ、基本計画を策定します。

熱中症にご注意を！

地域の区立施設など「涼み処」を積極的にご活用ください

今年も区が「涼み処」を開設

杉並区では買い物や用事などのお出掛けの際に、暑さでの体力消耗を防ぐために、気軽に立ち寄り、涼むことができる「涼み処（クーリングシェルター）」として、区立施設を開放しています。

開設期間は10月23日までです。施設にはトイレや水道、自動販売機などがあります。

地域の涼み処をご紹介します。どなたでもご利用いただけますので、熱中症の予防対策として、遠慮なくお立ち寄りください。

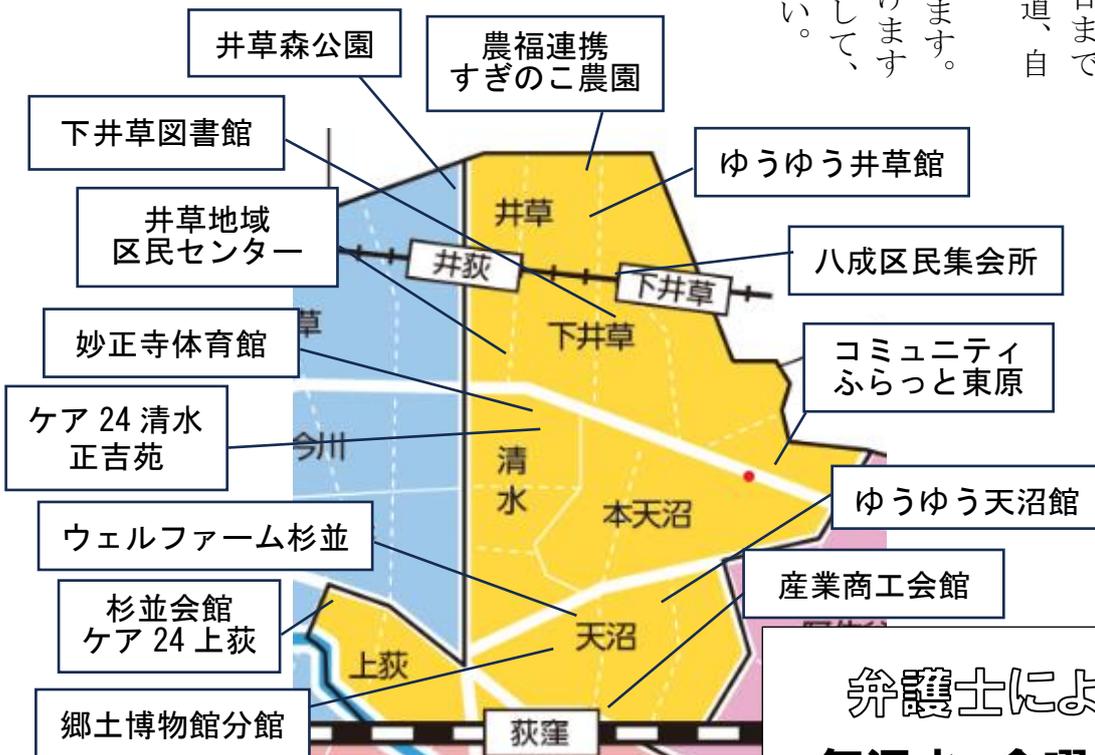
【高齢の方】

暑さや水分不足に対する感覚機能や体の調整機能が低下するため熱中症になりやすく、症状が重症化しやすい傾向があります。また、暑さや喉の渇きを感じにくく脱水症状が進んでも気づかないことがある。



【乳幼児】

体温の調節能力が十分に発達していないに加え、大人よりも地面からの熱の影響を受けやすい。



区内全域の「涼み処」一覧

は区ホームページにも掲載されています。また、左の二次元コードからご覧になれます。
(※コミュニティふらっと本天沼は10月～開設です。)



弁護士による法律相談

毎週水、金曜 2～4時半

会場 日本共産党杉並地区委員会

高円寺南3-30-12

電話 03-3314-5551

※予約は必要ありません。当日に現地で先着順になります。



あきいの部屋

が、味は赤いスイカとあまり変わらないような気がします。少し気になったので、黄色いスイカについてインターネットで調べてみました。すると意外な事実が！スイカはウリ科なので、もともとは黄色かったそう。そして、赤いスイカの方が実は品種改良されたものだと言っていました。あったのがビックリでした！スイカは赤という固定観念が覆され、調べてみると色々勉強になるなあと感じました。

高円寺の事務所へスイカ（実が赤いものと黄色いもの両方）の差し入れをいただきました。私にとってはこの夏初めてのスイカでした。蒸し暑い中で地域を回って大量に汗をかいた後だったので、スイカの水分がみるみる体に浸み込んでいくようで本当に美味しかったです。昔は黄色いスイカが珍しくて、一体どういう味がするのだろうか？と調べていました。今ではそんなに珍しくもないのです。